

2023年1月25日

マネックスグループ 行動規範 (code of conduct)

マネックスグループ株式会社（以下、「当社」）は、「MONEXとはMONEYのYを一步進め、一足先の未来における人の活動を表わしています。常に変化し続ける未来に向けて、最先端のIT技術と、グローバルで普遍的な価値観とプロフェッショナリズムを備え、新しい時代におけるお金との付き合い方をデザインすると共に、個人の自己実現を可能にし、その生涯バランスシートを最良化すること」を目指すことを企業理念に掲げています。

この企業理念を踏まえ、常に革新的な、最良の商品・サービスをお客様に提供し、社会から信頼、尊敬される企業であるために、当社及びグループ内各社（以下、総称して「当社グループ」）の役員及び従業員（名称の如何に関わらず当社グループの業務に従事する者の全てを含む。以下、総称して「役職員」）が守るべき行動規範を制定します。

1. 創造性と倫理的な行動の追求

常に一足先の未来における人の活動に貢献し続けるために、創造性と倫理的な行動を追求する努力を惜しみません。

2. ステークホルダーとの誠実な対話

個人の自己実現のために最良のサービスを提供するため、適時適切な情報の開示を含め、お客様や株主、役職員、サプライヤー・取引先など様々なステークホルダーとのコミュニケーションの維持・最大化に常に注意を払います。

3. 持続可能な社会への責任と使命

法令遵守の徹底により、良識と見識のある市民としての企業活動を行い、持続可能な社会に貢献することで、ステークホルダーそして社会との揺るぎない信頼関係を確立します。

4. 人権と多様性の尊重

公正な処遇、適正な職場環境に注意を払うとともに、差別や人権侵害を行うことなく、互いを尊重し、多様な価値観を認め合うことにより、開かれた公正な企業文化を構築します。

1. 創造性と倫理的な行動の追求

1-1 創造性の追求

常に明るく前向きで、最良を目指すことの重要性を理解しています。ベターを一步一步積み重ねることにより一足先の未来における新たな領域を拓き続けます。

1-2 自由・闊達な職場環境の追求

自由で闊達な職場環境からしか未来を拓くアイデアは生まれないと信じています。常に未来を見つめ、伝えるべきことを誰にでも誠実に説明する努力を怠りません。

1-3 倫理的な行動の追求

自由な発想で一足先の未来を創造する環境を維持するため、個人的利益相反を排除し、倫理観を持って行動します。

2. ステークホルダーとの誠実な対話

2-1 お客様との良質なコミュニケーションの徹底

様々な手段により寄せられるお客様からの要望を謙虚、誠実に受け止め、わかりやすく親切、的確、迅速なコミュニケーションを心掛け、最良のお客様サービスを実現します。

2-2 株主、役職員、サプライヤー・取引先との対話

株主、役職員、サプライヤー・取引先などのステークホルダーの信頼を常に強く意識した良質な対話の継続に努め、適切な企業活動の指針とします。

2-3 適時適切な情報の開示

お客様、株主、役職員、サプライヤー・取引先など様々なステークホルダーとのコミュニケーションの一環として、相手の立場に立った適時適切な情報の開示を行います。

3. 持続可能な社会への責任と使命

3-1 社会との関係

社会によって支えられ、社会に生きる個人に対して広く商品・サービスを提供する企業として、よき企業市民として活動を行います。

3-2 地球環境への配慮

未来を指向する企業として、地球環境の重要性を認識し、常に高い見識をもって環境に配慮します。

3-3 法令・諸規則の遵守

法令、諸規則を遵守し、良識ある市民として、社会規範に従った適切な行動をとります。

3-4 腐敗防止等への取組み

社会の一員としての責任を果たすため、インサイダー取引やマネーロンダリング行為の防止に取組み、また、贈答、接待、寄付、政治献金などを行う場合にはそれらが適法かつ適切なものとして行われるように注意を払い贈収賄や汚職の排除に努めるなど、あらゆる腐敗行為や犯罪行為の防止と排除に取組みます。

3-5 情報の取扱い

お客様、役職員の個人情報のもとより、当社グループに帰属する情報を適切に管理し、紛失、盗難、不正使用を防ぎます。第三者の機密情報の不正使用、不正入手を行いません。

3-6 反社会的勢力との関係遮断

市民社会の秩序や安全に脅威を与える勢力との一切の関係を遮断します。

3-7 違法行為の防止と早期解消

腐敗行為などの違法な行為やその疑いのある行為を認識した場合、速やかに社内の適切な部署に報告し、あるいは必要に応じて匿名でも利用可能な「内部相談・通報窓口」も活用しながら、違法行為の未然防止や早期解消に努めます。

4. 人権と多様性の尊重

4-1 公正な処遇

雇用や昇給、昇進、教育等の就労上の処遇にあたって、人種、国籍、信条、宗教、障がい、門地、性別、性的指向、性自認、年齢、健康状態等による差別や人権侵害を行いません。

4-2 適正な職場環境の追求

不当な差別や嫌がらせのない、公正で健康的で安全かつ開かれた職場環境を追求します。

4-3 多様性の尊重

異なる意見にも耳を傾ける姿勢を大切にし、互いに安心して意見を交わし、多様な価値観を認め合うことのできる企業文化を尊重します。